

洋書輸入協会会報

VOL. 4
NO. 4

(通巻36号) 昭和45年4月

理事会報告

3月10日(火)理事会

- (一) 雄松堂書店より、当協会への入会申込書到着につき、審議。紹介者、丸善及び竹内書店。

審議の結果加入承認の決議を行う。

- (二) 総務委員会より。

- (1) 昭和44年度収支につき、明11日監事より仮監査を受ける件。

- (2) 昭和45年度会費額の検討。

総務委員会会計担当大町氏の会費額の一時的措置である理事一万円を、会計も軌道に乗ったことでもあるので、減額したらどうかという提案の検討、……………尚総務委員会にて検討することとする。

- (3) 昭和45年度総会開催の件。

日程を4月23日とし、それまでのスケジュール検討。

- (三) 渉外・PR委員会より。

McGraw に対し、クレームの手紙を発送した旨報告。尚U. S. 山川氏が、訪欧、訪米されるので、その機会に理事会として、協会代表の資格にて英国において New Decimal Currency の件調査と、米国において McGraw を訪問の上、雑誌のクレーム処理状況調査とを依頼する。

- (四) 教育助成の件検討。

3月26日(木)

- (一) アメリカ郵便ストの件。

解決の方向に向ったようであるが、短期間であっても郵便物の遅欠配滞留が生じ、今後トラブルが起ることも予想されるので、必要ある場合は雑誌欠号委員会に事情説明書の作製をお願いすることとする。

- (二) 昭和44年度の当協会の決算及び45年度予算の検討。

2月までの分については既に仮監査を受け、決算準備の促進を計っている。

- (三) 各委員会の構成につき再検討。

4月8日(水)

- (一) 関西支部報告事項。

支部役員改選の結果全員留任と決定。

- (二) ホンリゅう・コーポレーションより、協会脱退の意志表示があったことにつき検討、理事会として承認する。

- (三) 総務委員会より。

- (1) 3月分収支報告。

- (2) 昭和44年度収支決算書の件検討。

- (イ) 文化厚生委員会より、同会関係の収支につき確認。
- (ロ) 未収会費及び繰越金の計上方法については来年度より実態を現わすよう変更することとする。
- (3) 45年度予算案の検討。
健全財政維持の建前から、総務委員会案を仔細に検討の上大幅に収縮を計り、削減分30万円を特別会計に繰り込むこととする。
- (4) 総会スケジュール検討。
- (5) 東西合同懇親旅行日程を6月12日（金）、6月13日（土）と予定する。

関西支部だより

4月6日（月）午後6.00～8.00 於全日空会館。

出席23社（内委任状6社）総会成立す。

支部長挨拶（要旨）44年度は業界にとって多事な年であった。内に大学紛争、外には政情不安通貨不安があり業務も仲々やり難く、多忙な明けくれに各社共終始された事と思います。今後は業界の置かれた状況の分析を鋭く行い、市場を積極的に開発する事に勉める必要があろうかと思われる。会員各社があつての協会であり、協会が各社とは別に存在するのではない。何卒今後とも多大の協力指導鞭撻をお願いしたい。

昭和44年度事業報告並に収支計算書報告

(イ)会議報告 (ロ)継続事業報告 (ハ)新規事業クレジットカード発足。審議の結果承認。

役員を選出。

- (1) 支部長 緑書房 丹羽正之氏
- (2) 副支部長 梅田書房 山内十三氏
- (3) 会計監査 丸田洋書 丸田達美氏

尚45年度予算は新役員により後程決定し例会へ提出の旨報告。

亦通関問題につき至急検討すべき事態が東西共々発生しているので、近々税関との協議会を開催する旨報告。

春闘と賃金体系について

第2回経営研究会開く

経営研究委員会では、さきの「春闘と労使問題について」の研究会が好評だったので、これをさらに深めるため、4月14日午後2時から日本出版クラブで、「賃金体系と春闘」について研究会を催しました。会は経営委員長石内茂吉氏（東光堂書店社長）の司会で進められ、まず東京中小企業家同友会の足立事務局長から春闘の現状について聞いたあと、講師の五合化学株式会社社長小野申治氏から同社の賃金体系について掘り下げたお話を聞きました。このあと、20数名の参加者はお話をめぐって活発な質疑応答と討議を行ないました。

春闘の現状——足立事務局長

春闘は中盤戦に入ったが、鉄鋼、電機労連など大手の回答がでていないので、まだ春闘相場は明確にはでていない。これまで回答がでていいるのは中小企業が多く、昨日

（4月13日）までの統計によると、429の企業で1万円以上の回答がでており、このうち、中小企業の多い全国金属関係が271を占めている。ベ・アを15%以下に抑えようとする日経連、生産性本部の方針と、この15%を突破して昨年の16%を上回る17～18%を獲得しようとする各労組の方針とのぶっかかりあいが、今後の焦点となるだろう。こうして、全体の平均相場は8,200～8,400円ていどになるものとみられる。

G社の実状と賃金体系——小野申治講師

G社はプラスチック成型の精密機械部品を生産する資本金1,000万円の会社。従業員は100名で若年層が圧倒的に多く、55%は男子。1人当たり年間加工高は約170万円で同業他社の平均130万円を上回っている。加工高に占める人件費の割合は42%で同業他社より高い。増員しないで

生産を高める方針をとってきたので、過去5年間の実質人員増は数名にとどまった。家庭事情あるいは一身上の都合により女子従業員に多少の出入りがあるだけで、男子従業員はほぼ定着している。

同社は5年間ほど、ヤトミ式号級表による賃金体系を採用していたが、①ペ・アが多額になるにつれ号級表では不合理となったこと②客観的な査定がむづかしい③急速に増額するペ・アを吸収しなければならない、などの点から、現行の職能給を取入れた給与体系に切りかえた。現行体系は1昨年より準備をはじめ、2年にわたり労組と話し合いを続け、煮詰めてきたもので、年功序列式と職能給を組み合わせたものになっている。(表1および表2参照)。

本給については、東京商工会議所調査の前年度「中途採用者初任給モデル賃金」に当年のペ・アを加えたものを本給としている。ペ・アの配分方法は昨年を例にとると、一率分3,000円、年代加算分21才1,000円、25～32才2,000円、33才以上3,000円、是正分2,240円となっている。是正分は主として技能給に振り向けられ、300円～4,000円の開きがあり、この部分に若干の査定要素が入っている。現場では全員が超過勤務をやっており、多い者で月50時間前

後。事務関係では超勤はほとんど無く、決算時期に若干有るていどで、事務能率は高い。抜キのときは、本給は変えず、指導給と技能給の号数を引きあげる。賞与計算の基礎は基本給で、出勤率で計算する。現在の給与体系は短かくても数年は維持できる見通しである。

トップの方針を徹底させる方法としては、①毎月1回の全員集会(当日は午後3時で仕事を打ち切り、社長、部長が当月の成果と来月の目標について説明する)②職制の会議と職制を通じての伝達③社内ニュースの発行などを行っている。組合とは第一土曜日に経営協議会をもち、給与関係とくに技能給などの問題は、経営2、組合2で構成される給与委員会で討議している。

○ 研究会

この日の研究会では、参会者のほとんど全員が活発に発言したのが特徴的でした。高度成長経済のもとで、圧倒的に中小・零細企業の多い会員各社が、経営の維持、労務、賃金などで、いかに多くの深刻な問題を抱えているかを示すものでした。これらの諸問題は協会が会員各社の発展のために、こんご腰をすえて取り組みねばならない緊急課題と言えましょう。(文責＝東光堂書店・川越)

表…1

基本給	一本給	給……初任給を1号給とし、号を増すごとに500円積上げる。
	一技能給	給……1号給を1,000円とし、号単位1,000円、頭打ち無し。
	一指導給	給……1号給を1,000円とし、号単位1,000円6号給まで。
	一勤続給	給……勤続1年につき500円、20年まで。
基準内賃金	一住宅手当	……持ち家の有無に関係なく、家庭持ち4,000円、独身者2,000円。
	一家族手当	……配偶者1,000円、その他500円。
	一精勤手当	……皆勤者3,000円、精勤者(遅刻2、休み1)1,000円。
	一通勤手当	……免税点4,200円まで。
	一特殊作業手当	……変則勤務者等に対する手当。
	一超過勤務手当	
基準外賃金	一休日出勤手当	
	一宿日直手当	

表…2

氏名	役職	性別	学歴	年令	勤続	本給	指導給	勤続給	技能給	計
A	課長	男	旧専	45	6	42,000	6,000	3,000	32,000	83,000
B	係長	男	旧中	38	16	40,000	3,000	8,500	12,000	63,000
C	班長	男	新中	36	14	39,000	2,000	7,000	9,000	57,000
D	〃	女	〃	26	10	28,500	1,000	5,000	4,500	39,000
E	一般	男	高	26	1	33,500	0	500	3,000	37,000
F	〃	男	中	18	1	23,500	0	500	0	24,000
G	〃	女	〃	17	(9月)	23,000	0	0	0	23,000

アメリカの図書館での盗難予防対策

出版ニュース社 鈴木 徹 造

日本の図書館のような出入館の折の申告が必要なく、比較的自由に出入りできるアメリカの図書館にとって、最も頭の痛い問題は盗難のようである。この盗難問題は急速にアメリカ全国の図書館で増加しており、一年間の損失は一図書館で数千ドルに達していると云われている。フィラデルフィア市の各図書館の場合、その損失は年間蔵書の4%にも達している。従って、蔵書の盗難防止対策は、アメリカ各図書館にとって急務と云えるものであるが、現在の閲覧制度では、たとえ、警察官を置いても完全には防止できないようである。そこで、考え出されたのが新兵器、チェックポイント(C.P.)システムである。

人間が月に行ける時代である。盗難防止器の発明ぐらいたして驚くに当らないかもしれないが、種を明かすとこのようになる。このC.P.の原理は電子システムである。電子工学が基礎となっている。例えば、或る人が蔵書を持って無断で受付を通ろうとすると、直に低音のブザーが鳴ると同時に回転木戸が自動的にピタリ締まるようになってくる。このC.P.は洋服の中やカバンの中に隠された蔵書を立ちどころに発見してしまうものである。そこで、やおら受付係が物静かに問いかける。「あなたはその本を登録するのを忘れにありませんか」と。人権と自尊心を尊重して、その受付係は決して疑いをもつような発言はしない。一方、受付の掲示板には、「蔵書を無断で持ち出した場合は、受付に設置してあるブザーによって発見されるので、必ず、持ち出しの際は登録して下さい。これは皆さんの蔵書の保護と、利益のために設置したものです」旨掲示し、心理的にも盗難防止を狙っている。従って、図書館の蔵書を持っていない人はカバンや荷物を開ける必要はなく、スムーズに出入りできるのである。このチェックポイントの秘密は、本の中に隠されている電子感应材にある。この感应材は、本の内側(プレート形式、或は裏表紙等)に貼付してあるが、電子感应材であるので、目には見えないうになっている。この感应材が貸出係の出口を通ろうとすると、そこのC.P.装置に感应する仕組みになっている。但し、時たま、蔵書以外に傘、乳母車、買物籠等がひっかかる場合もあると云う。この装置は二つの部分からなっている。(1)カウンターの後の棚の上に設置(15インチ幅)しておく機械部分。(2)背の高さの二つの感应幕、これは周囲の配置に合わせて目立たないように作られている。この電子原理によるチェックポイントは、磁気、超短波の何れでも感应し、ブザーが鳴るよう操作でき、その感应材は永久的に発見能力が落ちないとされている。

さて、このシステムを採用した図書館の盗難は非常に少なくなっており、閲覧者の評判も良いようである。各図書館のテストの結果、蔵書の紛失は従来の87%も減少したと

云う。因に、各図書館におけるこのC.P.の利用状況を記すと、フィラデルフィア自由図書館の各分館では4台のC.P.を1967年以降、ユール大学医学図書館では、1968年以降採用しており、フランクフォード図書館では、7カ月間の試用の結果、損失率が蔵書の0.3%に下がったが、同期間このC.P.装置をしなかったコブスクリーク図書館は2.3%の損失を出したとの事である。このチェックポイントは最初費用をかけても21カ月でもとがとれると云われ、その経済性を示すため、フランクフォード図書館は下記のような例証をあげている。

チェックポイントの最初の1年間の経費

出入口の設備、感应幕の設置費	810ドル
53,000冊に対する感应材料費 (平均1冊11セント)	5,830ドル
本の中に感应材を貼付する経費 (女子4人3週間、1時間2ドル22セント)	1,000ドル

感应装置借用費1ヶ月135ドル	1,485ドル
最初の1年間の総費用	9,125ドル

チェックポイント2年目の経費

3,452冊に対する感应材 (含労賃1冊13セント)	449ドル
装置の賃貸料	1,620ドル
1年間の契約率仕料	150ドル
2年目の総合計	2,219ドル
2年間の合計	11,344ドル

テストの結果は、1年間で蔵書の損失は2%に減少できたが、その2%は53,000冊に対する1,060冊である。1冊の値段は平均6ドル5セントであるから1年間で節減できたのは6,404ドル、2年間では12,808ドル、C.P.の2年間の経費は11,344ドルであるから、21カ月でもとがとれた事になると云う。その後も毎年盗難は減少の傾向にあると云う。現在、アメリカの図書館で、このC.P.を採用しているのは、フィラデルフィア自由図書館をはじめ20館程度のものであるが、諸外国の図書館もこのシステムに興味を持ち始め、同館に約400館からの問い合わせがきていると云うことである。

C.P.システムの利点とは云えば、上述の盗難減少による蔵書経費の節減、或は守衛より安いサラリーで人件費を節減し、余力の職員は蔵書の完全管理、保護に専念でき、更に利用者にも良いサービスができると云う事であろう。なお、アメリカ図書館基金協会も資金面でこのシステム設置に援助しているとの事。また、当システム設置には人種差別の強い地区での黒人の底抗があるので注意深く実施しているとの事である。ともあれ、日本の図書館の事情はアメリカのそれとは違うので、一概には云えないが、切り取りを含めて、盗難防止対策は万全であろうか。更には、書店の万引き対策にまで考え及ぶと心ざびしいものがあるが、無関心ではいられない問題であろう。

洋書こぼれ話

終戦後の洋書輸入再開の経過

石 川 実

連合軍総司令部・民間情報教育部への請願と交渉

昭和20年(1945)8月大東亜戦争が終結、翌9月連合軍総司令部(GHQ)が丸の内の第一生命ビルに置かれてから間もなく私は社命により丸善外国課の田中芳之君を伴い、同所を訪問した。

今から思えば当時は進駐間もなくやっとGHQが設置されたばかりで占領政策遂行上早急になさねばならぬ事が多く、洋書の輸入というような事は些事の些事で考えてもいなかったというのが実情であったのでなかろうかと思うが、こちらとしては三年余の輸入杜絶の後で少しも早く再開させて貰いたい、そしてGHQとしてはどういう考えをもっているのか早く知りたいという一途の願から、かくはGHQ訪問となったのである。

第一生命ビルのGHQの正面入口にもまた玄関内のホールにも何人かのスマートな軍装をした番兵が立ったり、歩いたりしてものものしく警戒をしているのですっかり圧倒された気持になったが勇気を出して入口正面の一人に来意を告げて玄関に入り、Informationで用件を伝えたところその係は別の建物であるからとの事で丸ビル裏の大きなビル(郵船ビル?)に行き同じ様に玄関で番兵に事情を告げ、責任者に面会を申し入れ、玄関脇の一室に案内され、それと思われる一少佐に引会わされた。そこでこちらは多年、米国書の輸入をして来た書店であるが従来同様に輸入をさせて貰いたいのが軍の意向を聞かせてほしいと話した。それに対して先方は軍としては一向差支えないと思うが担当者のところでよく話すがよいといって、当番兵を呼び、“この Two Gentlemen”を Dr. Smith のところへお連れせよと命じた。その時感じたことは応対の G. I. や将校の態度が厳としたところもあるが平民的であり、あたりもやわらかく、従来の我国の軍部特に陸軍の将校などの高圧的な態度を見なれて来た私の眼にはむしろおどろきであった。特に敗戦国の一商人がおそろおそろ相手の意向を尋ねに行ったのに対し“この Two Gentlemen”をという言葉のひびきはこちらが相手の国情、国民性に無知であったにせよ感激すら覚えたのであった。

やがて奥まった一室の中央近くの大きなテーブルに座っていた背広姿の中年の紳士のところに案内された。机の上には Bradford Smith と書かれた名札がおかれてあった。早速用件を単刀直入に切り出した。自分は丸善という本屋

だが永年米国書を輸入して来たが今度の戦争で杜絶し、今国民は貴国書に餓えているので一日も早く輸入を許可して欲しいと話した。するとその人は自分は戦前日本に居て大学の教師をしていたので丸善をよく知っているし、その希望もまたよくわかるといってくれた。その言葉を聞いて私はふと思い当ることがあったので“それではあなたは To the Mountain の著書ではないか”と尋ねたところ“その通りだ”ということで話が至極スムーズに進み、米国の出版業者の代表であるニューヨークの Snyder & Co. に“丸善は健在であること。米書の輸入再開を熱望していること、出来るだけ早くそうなるよう協力して欲しい。”と打電して欲しいという、よしそれでは手伝ってあげようとの場で氏の協力で案文を作成し、GHQとして厚木から打電してやろうと約束を貰いよろこんで帰社し報告した。それから二三日してから同氏から電話があり、このよろこびはぬかよろこびに終わった。それは当時軍用以外の電報は勿論民間の手紙も発信は許可されていないので残念ながら打電出来ぬとのことであった。進駐早々で当然なことであり、民間の外国通信が正式に許可されるようになったのはそれから約一年半後の昭和22年(1947)の3月であった。

なおその時は気が付かなかったがGHQの民間情報教育部(CIE)は既にこの建物にあって新聞、出版、教育関係の業務を扱っていたのであった。Dr. Smith は間もなく他に転任し、次に同所を訪問した時は書籍担当官は John Brown 氏に代り、その Brown 氏も短期間で他に転じ、其後任として Don Brown 氏が担当することになり、民間貿易再開時まで洋書の輸入につき非常にお世話になったのである。ダン・ブラウン氏は前身は何であったかわからないが本が好きでよく古書類を買い集めていた。今でも東京に在住、時々丸善に姿を見させている。それ丈に本に対する理解もあり、洋書の輸入業者の願いに対しても好意的であったがGHQの立場上仲々進捗せぬ模様であった。

然しCIE当局は米国書に対する我が国一般国民の日毎に増大する要望を考慮してかCIE図書館を有楽町の今の東宝劇場脇に設置し新刊書、新聞雑誌類を陳列し一般の閲覧を許した。これは業者にとっても大いに役立ったのである。

さて戦前洋書輸入の主務官庁であった内閣情報局は終戦と同時に洋書輸入審議会と共に消滅し、終戦後はその促進を頼むべき主務官庁は無く、また頼んでも全く無力であっ

たので輸入の促進を計るには業者の結束が急務となり、既に海外出版物輸入同業会の理事、メンバーと連絡待機していたが会員に米集を求めて昭和21年（1946）7月11日、中橋の焼ビル二階で戦後初の会合を開いたが参加者は次の九社のみであった。

丸善、南江堂、三省堂、三越、教文館、国際書房、福本書院、金原商会、山川商会

協議の結果戦前の輸入同業会を再編成し、役員を次の如く改選、全メンバーが一致協力して洋書輸入再開の促進を計ることとし、先づ手始めに貿易庁とGHQに陳情書を提出することにした。

常任理事 丸善株式会社
理 事 教 文 館
全 福 本 書 院
全 国 際 書 房

たまたま翌8月6日の日本経済新聞に貿易庁がGHQから国内不足物資で民意によって要請されているものの輸入申請を提出するよう指令された旨の記事が掲載されたので理事全員で貿易庁を訪問して相談したが其の時の注意により会名を海外出版物輸入協会と変更し、9月18日会員各自の洋書輸入申請書を取りまとめ貿易庁に提出、次で10月30日協会として理事連署の洋書輸入懇請書をGHQの貿易部長 Mr. McDermott を訪問提出し促進方を依頼した。

海外出版物輸入協会が洋書輸入代行機関として認可される

上記に先立ち8月21日わが輸入協会は貿易庁より洋書輸入代行機関として正式に認可され、形式上雑貨輸入公団の一部に所属することになった。そして丸善の田中芳之、田辺寛の両君が全公団の名目上の囑託に任命された。当時は政府貿易であって、民間の自由貿易は許されず、公団所属の政府の輸入代行機関が輸入業務を行うこととなっていたのである。

日本学術振興会、民主外交協会其他の後援

以上のようにわれわれ輸入業者として、貿易庁にまたGHQ当局への輸入促進の嘆願を行って来たが、学会、経済界、工業界等に於ける洋書の要望が益々強くなって来たので少しも早く再開の実現を計るためには学者、知名人などの側面よりの働きかけもまた有力であることを知らされ、日本学術振興会に実情を説明してその協力をお願いしたところ、東大理学部小林博士、全盛根根亮吉博士等のご理解と好意により直ちに振興会からもGHQに請願書を提出していただく事が出来た。また更にその後援のもとに会員各

自も関係方面に働きかけ、35枚にわたる951名の署名リストを作成することが出来、昭和22年2月12日にGHQ、ESSのマクダモット部長及びCIEのニュージェント氏に嘆願書にこれを添えて提出した。

其後も時々CIEにダン・ブラウン氏を訪問して様子を尋ねたが遅々として進展は見られず忍耐強く推移を見守るより方法がなかった。その中どういう関係からであったか、記憶は明らかでないが杉森辰夫氏を会長とする民主外交協会の同情を得ることになり、ユネスコの力を借りてGHQを動かしてもらってはということになり、専務理事広瀬氏の盡力で海外出版物輸入促進委員会を同協会内に設け、その委員長、杉森孝次郎博士（早大）ご自身で主題を“Petition for Importation for Overseas Publication”とする英文の請願書を書かれ、委員会名で、博士の署名の下に昭和22年（1947）10月27日にバリの本部と其当時開会されたメキシコ大会の両方へDr. Julian Huxley, Director General Unesco. 宛で発信していた。然しその返事はなく、どんな影響があったかは不明である。

米国出版協会代表 G. Melcher 氏の来朝

昭和22年4月米国出版協会の代表として Publishers' Weekly の出版社 R. R. Bowker Co. の社長G.メルチャー氏が来朝、全18日一席を設けて輸入協会のメンバーと会談をした。ダン・ブラウン氏も列席、通訳は教文館の殖栗文夫氏にお願いした。この時の話でわれわれは始めて戦後の米国の出版事情を知ることが出来た。それによると米国も本の用紙が非常に不足していて十分に輸出出来る状態ではない。いずれ輸出が可能になればスナイダー社の代表が来ることになろうということであった。なおその後知らされたのだが米国は戦時中戦地の兵士に送るため龐大な数のポケット型、紙装の G. I. Library を出版し、そのための紙の使用量も頗る多く、またフィリッピン、印度、中国などのアジア諸国からの要求にも応じねばならず、この当時は日本への輸出までは中々手が届かぬ状態でもあったとのことである。余談ではあるがこの時メルチャー氏は日本出版協会に於ても米国の出版事情について話し、特に図書週間の話は石井会長以下役員等に聞かせ、これにより我国でも図書週間を行うようになったのである。また翻訳出版のことについても話し合い、後ちダン・ブラウン氏の斡旋で我が国の出版業者が入札で翻訳権をとり、翻訳出版が活況に行われるようになったのもメルチャー氏の示唆によるものと思われる。

—以下続く—

海外 ニュース

「W. H. Allen 社が米社と合併」

イギリスの W. H. Allen 社とアメリカの娯楽・報道関係のグループである Walter Reade Organization の合併が発表された。Walter Reade Organization は、出版事業強化のため先にアメリカのペーパーバックの出版社である Pyramid Books を買収したが、W. H. Allen 社の合併もこの強化策につらなるものである。

W. H. Allen 社がアメリカの会社の支配下に入るのはこれが二度目である。数年前同社は Doubleday 社の傘下に入ったが、現社長の Goulden 氏が買い戻した。

Goulden 氏は W. H. Allen 社の社長の地位に今後も止まり、J. Simmons 氏と、Reade 社の出版部門担当の M. Hunter 氏がマネージング・ディレクターとなった。

(The Bookseller, 1970年3月21日号より)

「アメリカの書籍賞決る」

アメリカの出版社、書籍販売業者、印刷製本業者、大学出版局、翻訳者、児童書関係者などの協会、団体の後援のもとに、毎年、年間の最もすぐれた出版物に対して与えられる「ナショナル・ブック・アワード」の1969年度の受賞対象作品が決定した。

文学芸術部門は、“An Unfinished Woman” by Lillian

Hellman (Little, Brown); 児童文学は、“A Day of Pleasure: Stories of a Boy Growing up in Warsaw” by Isaac Bashevis Singer (Farrar, Straus & Giroux); フィクションは “Them” by Joyce Carol Oates (Vanguard Press); 歴史及び伝記は “Husky Long” by T. Harry Williams (Knopf); 哲学及び宗教は “Gandhi's Truth: On the Origins of Militant Nonviolence” by Eric H. Erikson (Norton); 詩歌は “The Complete Poems” by Elizabeth Bishop (Farrar, Straus & Giroux); 翻訳は Ralph Manheim 翻訳の “Castle to Castle” by Louis-Ferdinand Céline (Delacorte Press; a Seymour Lawrence Book) である。

(Publishers' Weekly 誌3月9日号より)

—— 紀伊國屋書店提供 ——

ニュース

- 米 Feffer 社 Mr. Donald Traynor, 3月中旬来日。
- 米 Snyder 社の Vice President. Mr. Max Parbois 3月中旬来日。
- 仏 Editions du Seuil 社の Mm. Bernadette Guedon 3月中旬来日。
- 米 Wiley 社の Vice President, Mrs. Marianne Orlando 3月下旬来日。
- 蘭 Wolters-Noordhoff 社の Mr. J. G. R. Hindley 4月上旬来日。

出版社在日代表の紹介

British Books Ltd.

代表者 酒井 忠 男

千代田区神田神保町2-2

洋書センター2階 Tel. 265-7627

当社は1960年3月より四谷三丁目の事務所兼ショールームで、Longman Group Ltd. Penguin Books Ltd. 等の代表業務を始めました。

最近 Longman の Financial Times との合併により、あらたに Oliver & Boyd, J. & A. Churchill, E. & S. Livingston を傘下に加え、殆んど全ての分野を扱うことになりました。業務を始めて十周年を迎え、当然ながら、展示図書の数も増えましたのでショールームが手狭になり、本年1月1日より、書物のメッカ、神田へ移転しました。

小人数ながら、上記出版社刊行物の紹介、諸学校へのプロモーション、版權仲介等を行っております。ショールームには、各社の出版物数千点を展示して、同業者や一般読者の閲覧に供して居ります。特に新刊の多くは航空便で送られて来ますので、ほぼ本国と同時にご覧になれます。又、近来、英語教育に関する教科書、副読本、視聴覚教材に対する需要が激増して居りますが、ロングマン社、ペンギン社共、この分野では斬新な企画と、経験豊かな著者グループの下に、多数の本や Audio-Visual Materials を出しておりますので、先生方のご利用が非常に多くなっております。常に前向きな姿勢を崩さず、微力ながら、出版書籍業界のご指導により、今後も頑張りたいと思っております。

総代理店ご案内

次の通り日本総代理店のご案内がございました。お手許の Agent List にご記入願います。

（株）医学書院 洋書部 ☎ 814-5931

R. J. Gorlin & H. M. Goldman Thoma's Oral Pathology, 6th Edition 2 Volumes; 1,260 pp.

1,053 figs. 1970

定価 約 ¥ 22,200 6月入荷予定

(The C. V. Mosby Company, St. Louis)

F. B. Walsh & W. F. Hoyt: Clinical Neuro-Ophthalmology, 3rd Edition 3 Volumes; 2,850 pp. 550 figs. 1969

特価 ¥ 38,000 5月入荷予定

(The Williams & Wilkins Company, Baltimore)

（株）イタリア書房 ☎ 262-1656

LESSICO UNIVERSALE ITALIANO di lingua, lettere, arti, scienze e tecniche.

Istituto della Enciclopedia Italiana

1 set 25 Volumi ¥ 400,000.—

（株）紀伊國屋書店 ☎ 354-0131

Science Associates / International. Inc.

- ・ Systems Documentation Manual: DP Standards. ¥ 12,000
- ・ ASCOP User Manual. 8,000
- ・ The Impact of Computer Techniques on Road Planning. 3,000
- ・ Computer Course 69/70. 3,200
- ・ Computers in Vehicle Scheduling. 1,680
- ・ Decimalisation: A Computer User's Guide. 960

Kraus Reprint

- ・ Sachwörterbuch zur deutschen Geschichte.

1,472 S. in 2 Bdn. Nachdruck 1970

set 26,400

（株）国際書房 ☎ 292-4951

Firth, C. H. and R. S. Rait (eds.): Acts and Ordinances of the Interregnum,

1642-1600, 3 vols. (1911) Reprint 1969.

Publishers:

Wm. W. Gaunt & Sons, Inc.

¥ 50,000.—

丸善株式会社 ☎ 272-7211

Flavins and Flavoproteins. Third International Symposium. Ed by H. Kamin '70

ca ¥ 9,800

The Biology of Symbiosis. Complete proceedings of the December 1969 AAAS

Symposium on Symbiosis. '70. 5,000

Problems in Systematics of Parasites.

Ed. by G. D. Schmidt. 3,180

(University Park Press, Baltimore, Maryland)

The Mountain World 1968-69 (10th issue)

English version edited by Malcolm Barnes.

(G. Allen & Unwin) ca ¥ 3,240

World Radio-TV Handbook. 1970 (24th ed.)

1970 Summer Supplement. 2,470

Supp. 価格不明

How to Listen to the World. 1969/70 (5th ed.)

(World Radio-Television Handbook Co., Ltd. 1,460 Hellerup, Denmark)

（株）南江堂洋書部 ☎ 811-7234

Operative Treatment of Bone Tumors ed. by

G. Chapchal. 1970 ca. 250 pp. ca. ¥ 11,500

(Georg Thieme Verlag, Stuttgart)

Concepts in Head and Neck Surgery. by J. J.

Conley 1970 ca. 300 pp. ca. ¥ 20,000

(Georg Thieme Verlag, Stuttgart)

Platelets and the Vessel Wall-Fibrin Deposition.

by F. G. Schettler 1970 in prep.

(Georg Thieme Verlag, Stuttgart)	株式会社 竹内書店	☎ 404-8571
Human Blood Coagulation. ed. by H. C. Hemker et al. 1969 397 pp. ¥ 7,800 (Leiden University Press, Leiden)	Les Temps Modernes —Revue Mensuelle. Volumes 1-15 in 30 units. Paris, 1945/46-1959/60.	
Ischaemic Heart Disease. ed. by J. H. de Haas et al. 1970 ca. 350 pp. ca. ¥ 7,800 (Leiden University Press, Leiden)	セット Paperbound ¥ 396,000.— 各巻 Paperbound ¥ 26,400.— (Kraus Reprint, Liechtenstein)	
Australian Drug Compendium 1969-1970. 1969 932 pp. ¥ 4,000 (N. E. Pty, Australia)	株式会社 ユー・エス・シエアテック カンパニー ☎ 502-6471	
Drugs 1960-1970. 1969 380 pp. ¥ 2,300 (N. E. Pty, Australia)	ICP Quarterly (A) ¥ 33,750.— JAN-DEC ONLY (Q)	
日本洋書販売配給株式会社 (洋販) ☎ 202-4461	中央洋書株式会社 ☎ 294-5151	
Harry N. Abram, Inc, U. S. A. All Titles (今般美術出版社より総代理店業務移管されました。)	* Heinemann Educational Books Ltd. All Publications * Thomas Nelson & Sons Ltd. // * Peter Owen Ltd. // * John Wright & Sons Ltd. // * William Heinemann Medical Books Ltd. // * W. H. Allen & Company Ltd. // * B. B. C. Publications //	
株式会社三省堂書店洋書部 ☎ 293-8119		
Thorndike-Barnhart HIGH SCHOOL DICTIONARY ¥ 2,800.— (Scott Foresman & Co.)		

出版社在日代表の紹介

Collier-Macmillan International

東京都足立区日ノ出町27-1-1015

代表者 石 神 幸 宏

(Tel) 881-8004

ニューヨークの The Macmillan Company の一部門に当る Collier-Macmillan International では、The Macmillan Company と同列及び傘下の The Free Press, Glencoe Press, P. J. Kenedy & Sons, Bruce Books, Crowell-Collier Press, Collier Books, 及び最近吸収した Berlitz Books, CCM Information Sciences, Hafnar Publishing Company, イギリスの Geoffrey Chapman (七月よりは Studio Vista) などの出版物の海外市場開発と CMI 独自の出版物の発行を行っている。

又、一昨年より Hong Kong に於いて Reprint 版を始めている。英語テキストの English 900, 専門辞典の The International Encyclopedia of The Social Sciences, The Encyclopedia of Philosophy, などは特に日本でも話題を呼んだものであり、今後も The Free Press の社会科学関係の参考書及びテキスト, CCM Information Sciences のコンピューター時代に即した情報サービス, Studio Vista の美術・デザイン・建築書及び Collier Macmillan International の Reprint テキストなどが着実に伸びていくと思われる。Children's Books から高度の技術書に到るまで名実ともに巾の広い総合出版社である事が時には強みでもあり、あるいは又その逆の場合もあるが今後の日本に於ける市場拡大は必定であろう。ニューヨーク本社からは営業担当の幹部が「又ですか。」と業社の方に言われる程度々訪れており、日本が大切な市場である事を物語っている。

■ 日 貿 新 一 手 販 売 品 案 内 ■

★システム・アナリスト／プランナー／マネジャーの必携書！

Handbook of Data Processing Management

Edited by Martin S・Rubin

(情報処理ハンドブック全6巻)

将来において、情報処理従事者、関係者の“聖書”となるべく、執筆陣・編集陣が心血をそそいで刊行する情報処理者のための必携便覧です。

各巻のタイトルから察せられるように、これまでの類書に例を見ない内容を誇っています。第一回に出版される第二巻にはどの機関のシステムにも適用できる“規格”を入念に取り扱い、どなたにも判り易い解説を豊富に採り入れて、システムの発展サイクルまでも包括します。

資料室に、オフィスに是非一セットお揃え下さい。

★全六巻 予約特価 56,250 円
定 価 75,250 円

発 行 元: Brandon／Systems Press

日本総代理店： **日本出版貿易株式会社**

東京都千代田区猿樂町 1 丁目 2 番 1 号

PHONES: (292) 3751～9

昭和45年 4 月 通巻第36号 洋書輸入協会 編集者 寺 久 保 一 重
☎ 103 東京都中央区日本橋江戸橋 1—15—5 藍沢ビル302号室 ☎ 271—6901
☎ 530 関 西 支 部 大阪市北区芝田町28 第一山中ビル ☎ 371—5329